

第3回紀の川市長期総合計画審議会 要旨

開催日時 平成28年12月26日（月） 午前9時30分から11時00分

開催場所 紀の川市役所 本庁5階 501大会議室

出席者

【紀の川市長期総合計画審議会】（委員21名）

仁藤会長、井口副会長、楠見委員、西川（武）委員、中川委員、和田委員、中本委員、宇野委員、戸中委員、山田（守）委員、渡部委員、西川（泰）委員、野村委員、尾崎委員、井尻委員、泉中委員、小倉委員、山田（泰）委員、右梅委員、城口委員、赤坂委員、（欠席 今木委員、阪中委員、高田委員、小林委員）

【紀の川市（紀の川市長期総合計画本部）】（1名）

神徳企画部次長（策定委員長）

【事務局（企画調整課）】（6名）

角課長、東、瀧本、西端、（受託業者 堀井、小部）

【傍聴】（なし）

資料

- ① 「第3回審議会 次第」 [※事前配布]
- ② 【参考①】 「第2回審議会の要旨」 [※事前配布]
- ③ 【参考②】 「審議会委員 ご意見お伺いシートとりまとめ表」 [※事前配布]
- ④ 【資料1】 「現行計画の検証作業」 [※事前配布]
- ⑤ 【資料1-1】 「紀の川市長期総合計画審議会における「分科会」の開催」 [※当日配布]
- ⑥ 【資料2】 「基本構想骨子（案）」 [※事前配布]
- ⑦ 【資料3】 「各種団体へのインタビュー実施報告（途中経過）」 [※事前配布]
- ⑧ 【資料4】 「紀の川市基礎調査報告書」 [※当日配布]
- ⑨ 【資料5】 「紀の川市市民意識調査報告書」 [※当日配布]
- ⑩ 【資料6】 「紀の川市小・中学生まちづくりアンケート実施報告」 [※当日配布]
- ⑪ 【資料7】 「紀の川市ワールドカフェ実施報告書」 [※事前配布]
- ⑫ 【資料8】 「審議会委員への「将来像」に関する事前の意見聴取結果」 [※当日配布]
- ⑬ 「第2次紀の川市長期総合計画の策定について」の諮問（写し） [※当日配布]

会議の概要

1. 開 会

2. 会長あいさつ

3. 議 事

(1) 前回要旨の確認（指摘事項に対する対応方針）

➤ 事務局

【参考①】「第2回紀の川市長期総合計画審議会 要旨」について、第2回審議会終了後に取りまとめ、11月上旬に各委員あて送付、内容をご確認いただき、特に修正等のご意見がございませんでしたので、現在、市のホームページにて公表させていただいている旨報告。

➤ 事務局

【参考②】「紀の川市長期総合計画審議会委員 ご意見お伺いシートとりまとめ表」について、前回の審議会終了後、または審議会においていただいたご意見を一覧表にして取りまとめたものとして、ご意見の内容と事務局の対応について説明。（既に説明済み分を除き NO.6～NO.9 について説明）

【質疑なし】

(2) 現行計画の検証作業について【資料1】

➤ 事務局

【資料1】に基づき、「1. 施策検証を行う目的・基本的な考え方」、「2. 現行計画の体系と構成」、「3. 施策検証シート」(3-1. 各項目の記載内容、3-2. 課題の考え方、各項目に対応する課題の抽出(例))、「4. 今後の検証作業スケジュール」について説明。

さらに、【資料1-1】「紀の川市長期総合計画審議会における「分科会」の開催」<第1回分科会の開催内容(案)と作業イメージ(案)>に基づき、第1回分科会の具体的な開催内容、作業イメージについて説明。

(3) 基本構想骨子(案)について【資料2】

➤ 事務局

【資料2】に基づき、「序論部分」における「第1章 計画の概要」について、(1) 計画策定の趣旨、(2) 計画策定の視点、(3) 計画の構成と期間による構成と各項目の概要について説明。

次に、「基本構想」における「第1章 計画の背景」について、(1) まちの歴史、現

状と特性、(2) 取り巻く環境の変化、(3) 計画の基礎条件による構成と各項目の概要について説明。

続いて、「第2章 基本構想の概要」について、(1) 紀の川市の将来像、(2) まちづくりの目標（政策目標と施策目標）、(3) 計画の体系、(4) 土地利用構想、(5) 基本構想の推進にあたって による構成と各項目の概要について説明。

➤ 中川委員

議事の2「現行計画の検証作業について」における、【資料1-1】の右側、第1回分科会（第4回審議会）の作業イメージ中、事前調整①に記載の分科会のグループ分けに関して、政策目標で3グループに分けることを想定しているがその理由は？

同じく、議事の2「現行計画の検証作業について」における、【資料1】の8ページ「3-2. 各項目に対応する課題抽出（例）」に記載の左側「2. 成果指標による進捗確認」をどのように分析するのか。

また、その分析に際しては、施策検証シートを用いて行政側と審議会側との連携が必要になるのか。

➤ 事務局

分科会を3グループに分けることを想定している理由につきましては、細かく分けてしまうとご意見を集約することが困難となることが予想されるため、現在、審議会が委員数25名で構成されている中、会長、副会長におかれては審議会が円滑に進行できるよう全体を網羅していただくという立場を想定し、残りの23名で1グループあたり7、8名の3グループで構成することが適当ではないかということで提案させていただきます。

次に、【資料1】の8ページにおける現行計画の課題の抽出をはじめとした分析方法と、施策検証シートの作成に関する行政側と審議会との連携が必要なのかというご質問に関してですが、現在、施策検証シートについては行政側で作成しており、作成作業を通じて、課題の抽出まで実施しているところであります。審議会委員の皆さまには、行政側で作成しました施策検証シートの確認作業を実施いただき、個々具体的な細かな部分ではなく、「この課題は次期計画ではクリアにしなければならない」という第2次長期総合計画において反映が必要な大きな項目についてのご提言をいただきたいと考えています。

➤ 仁藤会長

成果指標など数値の議論になりがちだが、そうではなく次期計画に反映すべきポイントについて分科会でご議論をいただきたい。

➤ 井口副会長

議事の3「基本構想骨子(案)について」における、「基本構想」の構成で「第1章計画の背景」で「まちの歴史」が先で、次に「取り巻く環境の変化」という構成となっているが、第1次計画では、まず「社会潮流の把握」が先にきている。

この10年で社会の潮流がどのように変化しているか、審議会として共通の認識として把握することが重要で、変化に対応するための新たな基本構想を策定する必要があるのでは。

➤ 事務局

まず社会潮流、変化を把握することが重要でないかのご意見ですが、今回の井口副会長のご意見をはじめ、基本構想の構成に関しましては、審議会でご議論をいただきながら作り込んでいきたいと考えていますのでご協力をお願いします。

➤ 宇野委員

副会長と同じ意見で、旧町の歴史よりもこの10年で何が起こったのか、変わったのか十分検証する必要があると思います。

➤ 仁藤会長

現状把握に関しては、当初から計画しているところですが、本日のご意見を参考に進めていきたい。

(4) 各種団体へのインタビュー実施報告(途中経過)について【資料3】

➤ 事務局

【資料3】に基づき、「紀の川市の状況」と「団体や企業を取りまく環境」についてお尋ねし、現在の問題・課題を把握し、今後の取り組みの検討材料とするため、10月下旬から11月にかけて、27の団体や企業にインタビューを実施した旨を説明。

今後もインタビューを継続、より多くのご意見を反映させるため、団体のご紹介を依頼。

(5) 基礎調査・市民意識調査結果報告について【資料4、5】

➤ 事務局

紀の川市基礎調査報告書について、【資料4】に基づき、第2回審議会で提示した「初校版」について、出典元データの年度掲載をはじめ、直近のデータに更新した旨を説明。

紀の川市市民意識調査報告書について、【資料5】に基づき、第2回審議会で提示した「初校版」について、レイアウトを修正し、確定させたもので、既に市のホームページ、各庁舎、図書館で閲覧に供している旨を説明。

紀の川市基礎調査報告書【資料4】、紀の川市市民意識調査報告書【資料5】とも、各委員でご確認をいただき、今後の策定作業にご活用いただきたい旨をお願いします。

【質疑なし】

(6) 紀の川市小・中学生まちづくりアンケートの実施報告について【資料6】

➤ 事務局

【資料6】に基づき、「第1章 調査の概要」、「1. 調査の目的」、「2. 調査の概要」、「4. 実施した質問の概要」について説明。

続いて、「第2章 調査結果」の内、小中学校を合わせた【全体】のポイントとして、9ページ問3の「住みよさ」、10ページ問4の「愛着」、11ページ問4-Aの「好きな理由」、12ページ問4-Bの「好きでない理由」、13ページ問6の「将来の定住志向」について説明。

続いて、35ページの「自由記述」の項目中、問5の「紀の川市の自慢」、36ページ問8の「将来の理想のまちのキーワード」、37ページ問9の「市長になったら取り組んでみたいこと」について説明。

(7) 紀の川市ワールドカフェの実施報告について【資料7】

➤ 事務局

【資料7】に基づき、「1. ワールドカフェの実施概要」について説明し、さらに、10月の若手職員ワールドカフェ、11月の市民ワールドカフェの様子を写真スライドで投影し、審議会全体で共有。

「2. 職員ワールドカフェ結果」として、9ページの「職員ワールドカフェで抽出された「紀の川市の理想の未来像」」、11ページの「職員ワールドカフェで抽出された「私たちにできること（市民として）」」、13ページの「職員ワールドカフェで抽出された「私たちにできること（職員として）」」について、各項目のポイントを説明。

つぎに「3. 市民ワールドカフェ結果」として、16ページの「市民ワールドカフェで抽出された「紀の川市の理想の未来像」」、18ページの「市民ワールドカフェで抽出された「私たちにできること」」について、各項目のポイントを説明。

最後に「4. 職員ワールドカフェと市民ワールドカフェ結果の比較」として、25ページの「紀の川市の理想の未来像」の比較、26ページの「私たちにできること」の比較について、各項目のポイントを説明。

➤ 事務局

【資料7】の紀の川市ワールドカフェ実施報告書をはじめ、市民の皆さまから得ら

れた「紀の川市の理想の未来像」について、追加が必要な項目について意見聴取を実施し、取りまとめた【資料8】の「紀の川市長期総合計画審議会委員への将来像に関する意見聴取結果」の概要について、赤字で表示しているポイントとなるキーワードについて説明。

➤ 仁藤会長

事務局から、議題（6）の「紀の川市小・中学生まちづくりアンケートの実施報告について」【資料6】、議題（7）の「紀の川市ワールドカフェの実施報告について」【資料7】、「紀の川市長期総合計画審議会委員への将来像に関する意見聴取結果」【資料8】まで一括して説明があり、これらの内容を掘り下げて、将来像を作り込んでいくことになるが、今回はこれらの情報を共有し、次回の審議会において、審議会全体として「まちの将来像」の候補をいくつか提言したい。

審議会委員それぞれの立場がある中、1つに集約することは想定しておらず、これらの情報を踏まえて意見交換したい。

「小中学生アンケート」、「ワールドカフェの結果」および「審議会委員の将来像に関する意見聴取結果」の内容を踏まえ、「賛同できる」、「いいなと感じたこと」など、「将来像」に盛り込んだほうがいいと思うキーワードに関する発言をお願いします。

➤ 宇野委員

先ほど井口副会長からもありましたが、この10年間でどのような変化があったのかを整理いただきたい。

今年4月に熊本地震が発生したが、現行計画34ページに基本施策「自主防災組織の育成など地域防災力の向上」を掲げているが、中央構造線が通っている紀の川市の特性を考慮した表現が見当たらない。

また、現行計画については、全体を網羅的に表現しているが、濃淡がない。

安部内閣では「女性が輝く世の中を実現しよう」という方針であるが、現行計画に男女共同参画の推進が掲げられているが、具体化されるか疑問である。

現実、自治会長に女性が登用されることは少なく、男女共同参画を推進する地域社会になっていないと感じる。女性の意見が反映される仕組みの検討が必要である。

また、障がい者支援に関する取り組みも掲載されているが、交通基盤の整備のところで残念ながらバリアフリーの記述がなされていない。

その他、課題と感じているのは廃屋対策、那賀地区ではスーパーマーケットがなく買い物弱者対策、地域外からの移住対策、出生率の減少など多くの課題がある中、現行計画においては、全てのことは項目としては掲載されているが、世の中の事象を鑑みてどの項目に重点化を図るかが重要である。

また、策定方針の中で「選択と集中」とあるが、総合計画であるので「こうあって欲しい」という項目は全て盛り込んで、何をする、しないというのは市長以下、執行部が予算の範囲で判断すれば良いのではと考える。

➤ 仁藤会長

貴重なご意見であります。

災害に対すること、女性の活躍、バリアフリー、先ほどの資料8でも「社会的弱者に優しいまち」というキーワードがありましたので、これらを網羅する計画の策定を検討いただくとともに、委員の皆さまにもご意見をいただきたい。

➤ 西川会長

例えば、農業の盛んなまちとして農業を中心に考えるとと言っても紀の川市の農業は衰退している。

それともう一つ「コミュニティを大事にしましょう」とあるが共同体そのものが崩壊の危機にある。自治区への加入、参加も減っている。

アンケート結果を鵜呑みにするのは危険であり、アンケート結果の矛盾点や現実とのギャップについて、我々審議会のメンバーをはじめ、どのように分析するのが重要であり、適切な分析結果により長期総合計画に反映すべきである。

➤ 仁藤会長

貴重なご意見ありがとうございます。

各種データの活用方法について、審議会としても十分留意する必要があります。

➤ 仁藤会長

その他、会議全体として何かご質問ございませんでしょうか。

【質疑なし】

(8) その他

➤ 事務局

本日の配布資料として、市長から長期総合計画審議会を代表して仁藤会長への「第2次紀の川市長期総合計画の策定について」の諮問（写し）を配布。

8月22日の第1回審議会において委嘱状の交付、会長の選出後、諮問がなされており、本来、第2回の審議会においてお知らせ、共有すべきところ、今回の審議会でのお知らせとなったこととお詫び。

➤ 事務局

次回、第4回の審議会について、2月開催を予定している旨のご案内。

4. 閉 会（副会長あいさつ）